

こずかた

No.151

令和5年3月15日発行
盛岡市教育研究所
☎019-651-4111(内7371)
印刷/セーコー印刷 651-3606

勇気を育てる

盛岡市中学校長会会長 石川 健



でもアップしようものなら、過去が暴露され、自宅や家族もさらされ、虚偽まで書き込まれるような今日、表現行為は危険が隣り合わせと知れば、リスク回避に流れる気持ちも解らなくなはない。

書名が刺激的だ。「先生、どうか皆の前でほめないで下さい」の著者・金間大介氏（金沢大学教授）は、今の若者を「先頭に立ちたがらず競争が嫌い。他人の感情を怖がり、空気に従おうとする」と分析する。この指摘に多くの人が共感しており、そこには私も含まれる。無論、同情の余地はある。ハラスメントが度の過ぎた動画で、何ハラかに抵触していないかの安全確認は必須となつた。

私達は何を見誤ったのか。経験成長と共に国際感覚を磨いてきたはずなのに。ダイバーシ

ティを標榜すべく文化の多様性を説き続けてきたというのに。人は過ちを犯すものであり、それを通じて育つ生き物である。一步を踏み出さなければ、何も始まらず生み出せず得られない。美味しい物を食べるから美味が判るように、痛みを

先を生きる者として、やるべきことがある。それは、多様性を語る以上に寛容性を教えることだ。

こずかた写真館⑤

いきいきスクール

二月三日、15人

が参加した今年度

最後のいきいきス

クール。午前中、

子ども科学館でス

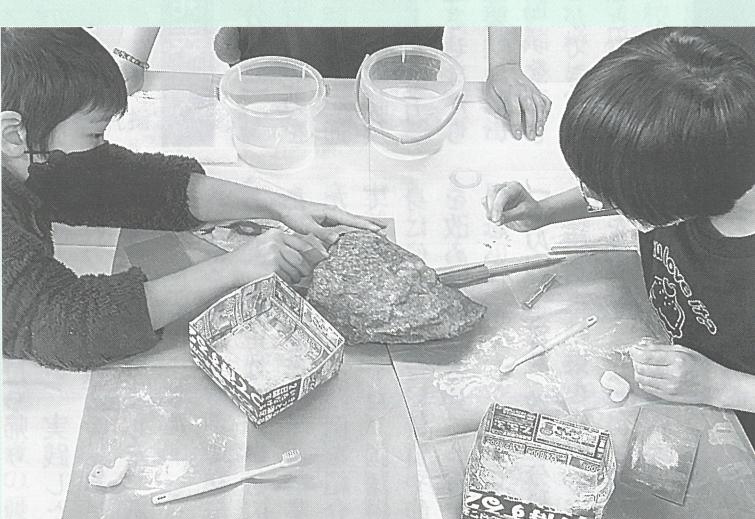
テンドグラスシ

ルづくりや、プラ

ネタリウムを楽し

んだ後、午後の

遺跡の学び館では、みんなで楽し



く「勾玉づくり」を体験しました。

黙々と石を磨く作業に、集中して取り組み、オリジナルの勾玉を完成させました。